

第四期特定健康診査等実施計画

ジャヴァグループ健康保険組合

最終更新日：令和5年10月31日

特定健康診査等実施計画 (令和6年度～令和11年度)

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	一人当たりの医療費が今後増加する傾向にある。 高額医療費の対象者が少数であっても医療費における比率が大きくなる。	→ 全体として医療費を抑制するために、機関誌の配布やホームページでの啓発活動を継続していく必要がある。
No.2	被保険者数の減少に伴い、療養給付費は減少傾向にあったが、直近では上昇傾向に転じている。 傷病手当金・出産育児一時金・出産手当金は、減少傾向にある。 但し、傷病手当金については、精神疾患の方が増加すると急激に支出が発生し、楽観視できる状況ではない。 また、出産育児一時金・出産手当金は、全体的な加入者の減少に伴い減少傾向にあるが、出産育児一時金の増額改定により、増加傾向に転じることが予想される。	→ 療養給付費の増加に対応するには、早期発見・早期治療のツールが必要です。 医療従事者の協力を得られる「健康相談」の実施を検討していく。
No.3	新生児の疾患が医療費で支出があったが、直近ではコロナによる重症急性呼吸器症候群などでおおきな医療費の増加につながっている。 また、加入者に女性が多いことから腎尿路生殖器系疾患も疾患別では上位にランクされている。 悪性腫瘍は、消化器系か女性生殖器が多い傾向にあります。 生活習慣病の有病者は、糖尿病・高脂血症・高血圧症の順番に多い状況です。	→ 新生児は自覚症状のある場合もあるが、定期健康診断で発見されることもあり、健康診断を定期的に受け、診断内容をしっかりと確認していただくことが必要です。 生活習慣病は、自覚症状がないままに進んでいくため、なかなか治療にたどりつかないことが多いです。そのため、特定保健指導をきっかけに健康意識を高めてもらうことが大切です。 健康意識を高めるための情報発信は今後も行いつつ、自覚症状のない状態においての早期受診する健康意識の向上を目指す。
No.4	特定健診の受診状況は、なかなか70%以上に届いていない。 大きな要因としては、全国に派遣されている販売スタッフの受診率があがってこないためです。	→ 受診率の向上には、事業所からの督促が非常に重要となります。 時期をみながら40歳以上の受診状況については、事業所へ情報提供を行っていきます。 定期的な健康状態の知ることの重要性を認知してもらう必要があります。
No.5	特定保健指導の受診率は、一般的な状況に比べ高い水準で推移している。 但し、コロナ期間中は、受診率が低下している。 受診の促進をしないと受診率が上がらないのが現状です。	→ 委託業者との連携がIT技術を活用し、初回面談のハードルは下がったように思います。 今後の対応としては、利用券の発行も並行して行いますが、できるだけ委託業者の保健指導を受診してもらうように促していきます。

基本的な考え方（任意）
内臓脂肪症肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診及び保健指導を医療保険者に行わせることにより、生活習慣病の予防及び医療費の適正化を目指す。

特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】																																																	
1 事業名	特定保健指導事業	対応する健康課題番号 No.5																																															
																																																	
事業の概要		事業目標																																															
<p>対象 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者</p> <p>方法 -</p> <p>体制 -</p>		特定保健指導の受診率の向上を目指す。																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th colspan="6">年度別目標</th> </tr> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトカム指標 特定保健指導対象者割合</td> <td>14.7 %</td> <td>13 %</td> <td>11.6 %</td> <td>10.3 %</td> <td>9.3 %</td> <td>8.3 %</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率</td> <td>1.5 %</td> <td>1.7 %</td> <td>1.6 %</td> <td>1.6 %</td> <td>1 %</td> <td>1 %</td> </tr> <tr> <td>腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合</td> <td>1.5 %</td> <td>1.7 %</td> <td>1.6 %</td> <td>1.6 %</td> <td>1 %</td> <td>1 %</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標 特定保健指導実施率</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> <td>R11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50 %</td> <td>53.1 %</td> <td>56.6 %</td> <td>60.7 %</td> <td>61.5 %</td> <td>62.5 %</td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	年度別目標						R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	アウトカム指標 特定保健指導対象者割合	14.7 %	13 %	11.6 %	10.3 %	9.3 %	8.3 %	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %	腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %	アウトプット指標 特定保健指導実施率	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		50 %	53.1 %	56.6 %	60.7 %	61.5 %	62.5 %
評価指標	年度別目標																																																
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																											
アウトカム指標 特定保健指導対象者割合	14.7 %	13 %	11.6 %	10.3 %	9.3 %	8.3 %																																											
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %																																											
腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %																																											
アウトプット指標 特定保健指導実施率	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																											
	50 %	53.1 %	56.6 %	60.7 %	61.5 %	62.5 %																																											
実施計画		対象者数 R6年度 50 %																																															
対象者数 R7年度 53.1 %		対象者数 R8年度 56.6 %																																															
対象者数 R9年度 60.7 %		対象者数 R10年度 61.5 %																																															
対象者数 R11年度 62.5 %																																																	

2 事業名 特定健康診査（被保険者）

対応する
健康課題番号

No.4

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

被保険者の健康診査および特定健診の受診率向上を目指す。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	内臓脂肪症候群該当者割合	5 %	4.5 %	4 %	4 %	3.5 %	3 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診実施率	70 %	72.4 %	75 %	77.5 %	80 %	82.5 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
対象者数 330名 受診者数 231名 受診率 70%	対象者数 340名 受診者数 246名 受診率 72.4%	対象者数 345名 受診者数 258名 受診率 75%
R9年度	R10年度	R11年度
対象者数 350名 受診者数 271名 受診率 77.5%	対象者数 350名 受診者数 280名 受診率 80%	対象者数 350名 受診者数 289名 受診率 82.5%

3 事業名 特定健康診査（被扶養者）

対応する
健康課題番号

No.4

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

被扶養者の健康診査および特定健診の受診率向上を目指す。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	内臓脂肪症候群該当者割合	5 %	4.5 %	4 %	4 %	3.5 %	3 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健診実施率	70 %	70 %	70 %	80 %	80 %	80 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
対象者数 30名 受診者数 21名 受診率 70%	対象者数 30名 受診者数 21名 受診率 70%	対象者数 30名 受診者数 21名 受診率 70%
R9年度	R10年度	R11年度
対象者数 35名 受診者数 28名 受診率 80%	対象者数 35名 受診者数 28名 受診率 80%	対象者数 35名 受診者数 28名 受診率 80%

4 事業名 特定保健指導

対応する
健康課題番号

No.5

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	-
体制	-

事業目標

特定保健指導の受診率向上を目指す。							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導対象者割合	50 %	53.1 %	56.6 %	60.7 %	61.5 %	62.5 %
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %
	腹囲 2 cm・体重 2 kg 減を達成した者の割合	1.5 %	1.7 %	1.6 %	1.6 %	1 %	1 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定保健指導実施率	50 %	53.1 %	56.6 %	60.7 %	61.5 %	62.5 %

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
対象者数 34名 受診者数 17名 受診率 50%	対象者数 32名 受診者数 17名 受診率 53.1%	対象者数 30名 受診者数 17名 受診率 56.6%
R9年度	R10年度	R11年度
対象者数 28名 受診者数 17名 受診率 60.7%	対象者数 26名 受診者数 16名 受診率 61.5%	対象者数 24名 受診者数 15名 受診率 62.5%

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
特定健 康診 査実 施率	計画値	全体	252 / 360 = 70.0 %	267 / 370 = 72.2 %	279 / 375 = 74.4 %	299 / 385 = 77.7 %	308 / 385 = 80.0 %	317 / 385 = 82.3 %
	被保険者	231 / 330 = 70.0 %	246 / 340 = 72.4 %	258 / 345 = 74.8 %	271 / 350 = 77.4 %	280 / 350 = 80.0 %	289 / 350 = 82.6 %	
	被扶養者 ※3	21 / 30 = 70.0 %	21 / 30 = 70.0 %	21 / 30 = 70.0 %	28 / 35 = 80.0 %	28 / 35 = 80.0 %	28 / 35 = 80.0 %	
実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
特定保健 指導実施率	計画値	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	
	積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	

※ 1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※ 2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※ 3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）

第4期の保険者の目標値は、全体の目標値である特定健診実施率70%以上、特定保健指導実施率45%以上を達成する

特定健康診査等の実施方法（任意）

被保険者は、事業所の健康診断を基本とし、特定健診の基本的項目を事業所または健診機関より情報提供を受ける。
40歳以上の任意継続者および被扶養者については、健康保険組合より健診の案内を送付や受診勧奨を行う。

個人情報の保護

健康保険組合は、ジャヴァグループ健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守する。
健康保険組合および委託された健診・保健指導機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。
健康保険組合のデータ管理は、常務理事とする。
外部委託する場合は、データ利用の範囲・利用者を契約書に明記することとする。

特定健康診査等実施計画の公表・周知

本計画の内容は、ホームページに掲載し各事業所に周知することとする。

その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）

特定健康診査等実施計画の見直し
当計画については、事業所年度ごとに達成状況を確認し、必要に応じて実施体制、周知方法について計画の見直しを検討する。
また、厚生労働省による制度の見直しがあった場合は、その内容に準ずる。